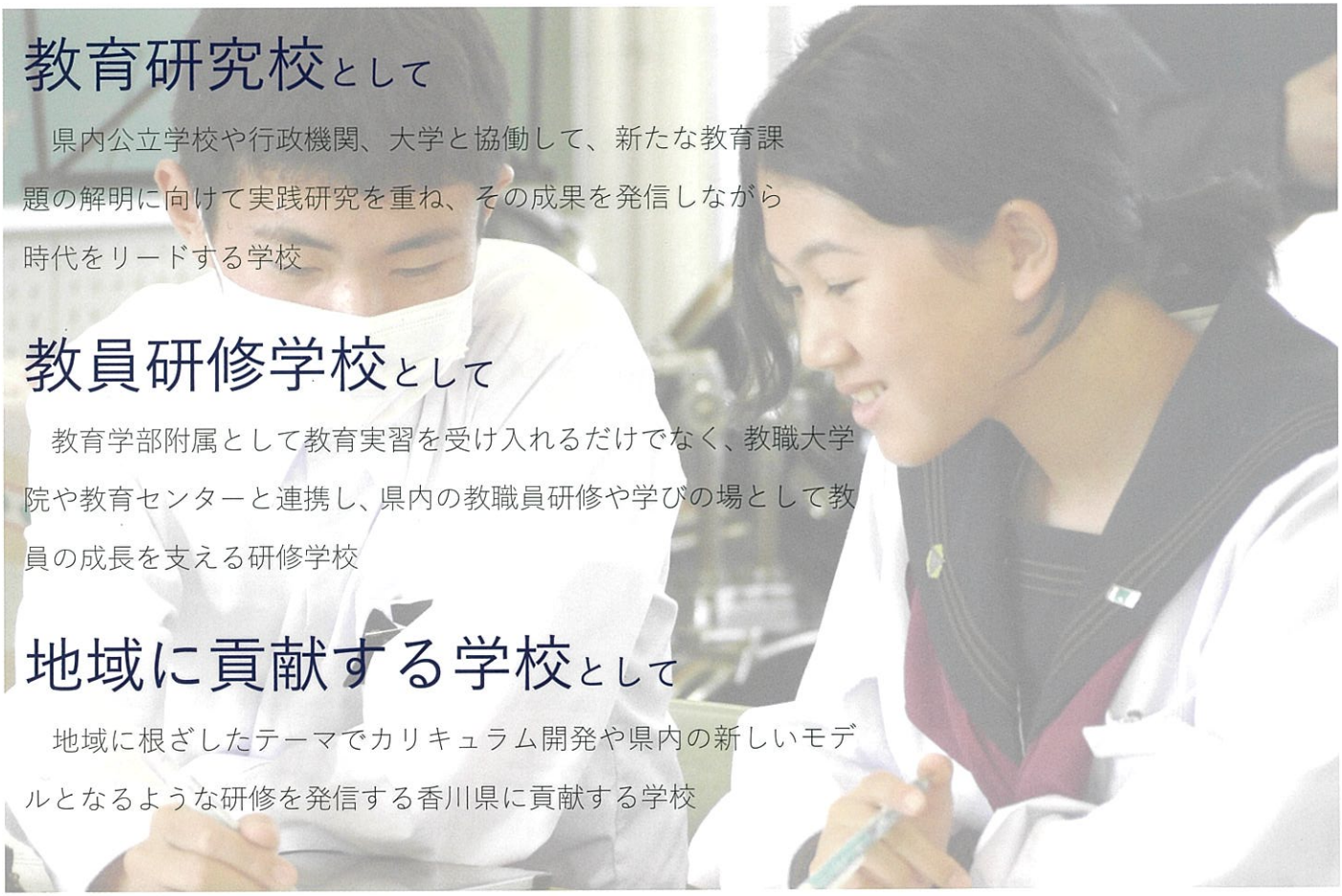
School Guide 2026

香川大学教育学部附属坂出中学校

自分をみつける　自分を高める
未来を切り拓く　学ぶ力

本校の使命

SCHOOL MISSIONS



教育研究校として

県内公立学校や行政機関、大学と協働して、新たな教育課題の解明に向けて実践研究を重ね、その成果を発信しながら時代をリードする学校

教員研修学校として

教育学部附属として教育実習を受け入れるだけでなく、教職大学院や教育センターと連携し、県内の教職員研修や学びの場として教員の成長を支える研修学校

地域に貢献する学校として

地域に根ざしたテーマでカリキュラム開発や県内の新しいモデルとなるような研修を発信する香川県に貢献する学校

教育目標

EDUCATIONAL GOALS

「広い視野をもった個性豊かな生徒の育成」

Develop students' individuality and broaden their horizons

めざす生徒像

Our Vision for Students

自主・自立 Autonomy・Independence	心身ともに健康で、自ら積極的に人・もの・ことにかかわり、自己を振り返り、生涯にわたって学び続ける生徒
共生・協働 Coexistence・Collaboration	集団や地域社会の一員として生きる中で、自己の役割と責任を自覚し、自他を尊重し、進んで役立つ行動ができる実践的な生徒
探究・創造 Inquiring mind・Creativity	より高い目標を定め、常に探究的な態度をもち、よりよい社会を創造していく活力ある生徒

教育カリキュラム

EDUCATION CURRICULUM

生涯にわたって学び続ける自立した学習者を育てる

教科における「ものがたり」の授業、「共創型探究学習 CAN・シャトル」、特別の教科道徳や「語り合いの時間」、学校行事等の特別活動など、特色ある教育カリキュラムの中で語り合い、探究することを通して生まれる学びが互いに絡み合い、生徒たちは生涯にわたって学び続ける意欲をもった「自立した学習者」へと成長していきます。

学びの物語

NARRATIVE OF STUDENT

私は、附属坂出中学校での3年間で、学びを深めることの楽しさを感じた。この学校に入学する前は、「学び」と聞いて思いうかぶのは勉強のことで学力を上げるというイメージが強かった。でも、教科の授業、語り合いの時間、CANなどを通して、学びに対するイメージが変わっていった。教科の授業では、特に数学の授業が印象に残っている。数学は、計算など、公式を使ってしつの答えを見つけていくものだと思っていた。でも、この学校での数学は違っていた。もともと決まっている公式や考えかから、疑問を探し、それを解決していくことが多かった。決まっているものから別の疑問を見つけるには視点を変えて見なければいけなかったので難しかった。また、疑問が見つかっても解決する方法が分からず、立ち止まることもあった。でも、友達と協力しながら探究していき、自分なりに答えを出すことができたときは、達成感があったし、ただ問題を解くよりも楽しむことができたと思う。語り合いの時間では、答えのない問いを考えることのおもしろさを知ることができた。語り合いのような話し合いを今まで経験したことがなかったし、はじめて語り合いをしたときは、とても難しいと感じた。話し合いをしても、答えが決まるわけではなく、どんどん話題がながっていき、お互いに質問をしあって進めていった。はじめは難しかったけれど、回数を重ねるにつれて、次々と広がっていく問いを話すのが楽しくなっていった。また、異学年での語り合いも同学年との語り合いとは違っておもしろかった。同学年では意見がかぶることも多かったが、異学年では違う意見が多く、しつの問いに対して、深く話し合うことができた。そして、他の人と質問しあいながら考えを深めあっていく楽しさを知った。CANでは、自分で身のまわりから問いを見つけて探究するおもしろさを感じられた。答えが存在する問いではなく、答えが分からない問いでも、いろいろな視点から考え、探究するのはとても難しかった。探究していく中で、次々に新しい疑問が生まれてきて、しつこく解決していくのが大変だった。でも、新しい疑問が生まれるたびに、クラスターメンバーと意見を出し合いながら、どうすれば解決することができるのかを考えた。メンバーと話しあうことで自分にはなかった発想も出てきて、さらに深く探究することができたと思う。そして、CANの3年間の探究は、絶対に自分一人ではできなかったことだと思うし、協力しながら探究していくことの楽しさも学んだ。3年間でのさまざまな探究を通して、学ぶことの本当の楽しさを知ることができた。学ぶことは、ただ勉強することなのではなく、身のまわりから自分で疑問や問いを見つけだし、深く探究することだと思った。この学びは、この附属坂出中学校でしか体験することのできないものだと思うし、この学校でたくさんのことを学ぶことができて本当によかったと思った。これから、CANのように探究することは少なくなっていくかもしれないけれど、自分で問いを見つけ、考えを深めていく、本当の学びを大切にしていきたい。

昨年の卒業生が3年間を振り返って書いた学びの物語

各教科における「ものがたり」の授業

学ぶことは、新たな自分を生み出していくこと。学んだことをこれまでの経験と関係づけ、意味や価値を実感しながら自己を理解し、自己を形成していく授業（「ものがたり」の授業）をめざして取り組んでいます。

自分が学ぶ意味とは？

酸素に対して初めは人間が生きるのに必要なものと大まかにしか考えられていなかったけど、酸化を学んだ今では、酸素に対して取りすぎたら毒になるけど、人間が生きるのに必要な水、植物、エネルギーを作るのに欠かせない存在だと一歩進んだ表現ができるようになりました。（中略）今まで、先生が黒板に書いた実験をし、結果や結論をただ写すだけになっており、予想しか立てられなかったけれど、今回、実験方法から結論まで自分で考えられました。また、自分とは違う友達の意見を聞くことでお互いの考えを深め合えるし、新しい考えの発見になれる、答えを求めていくうえで、一番大切だなと思えました。

～生徒の授業後の振り返り（第２学年　理科）から一部抜粋～

私は授業前から「本当の自分ってどれ？」って考えたことが何度もあった。人や場所が変われば、その人、その場所に合わせての自分像があり、いつ本当の自分を出せているのか？自分の核というものはないのかと悩んでいた。多分、自分が芯のない人間とは思いたくなくて、本当の自分像を作っていたのだと思う。これは素顔同盟の“僕”と似ているなと考えた。（中略）内面と外面で矛盾があるからこそ、それが人間味でその人らしさになっているのではないかなと考えた。はじめ、この物語を読んだ時の“僕”と“新兵衛”に対する印象は今とはかなり変わっていて、人は一部だけでは判断できないし、すべてを受け止めるとことが人と関わる時に大切だと思う。

～生徒の授業後の振り返り（第３学年　国語科）から一部抜粋～

異学年の学び　共創型探究学習 CAN、語り合いの時間

共創型探究学習 CAN は私たちの身のまわりの世界すべてを対象に、生徒自らが興味あることを見つけ、納得行くまで探究し、自己の成長や可能性を実感していく本校だけの学習です。３学年の生徒が探究小集団をつくり、互いの特技や個性を生かしながら、協力して探究を進めます。この学習をとおして、生徒は日常の問題とつなげて教科の学びを活用したり、探究するスキルを学んだり、答えのない問題に挑戦する難しさや達成感を感じたりします。

語り合いの時間は、「こども哲学」の哲学対話を参考に、「ふつうって何？」「なぜ勉強するの？」といった答えのない問いに対し、小集団で問い、考え、語り、聞き合うことを通して自らの考えを深めていく学習です。身の回りの様々なことに問いをもち、自問自答しながら、自己の在り方、生き方を問い続ける力をつけていきます。

自分たちの「好き」を追求

語り合い、探究する中で

本校独自の学校行事

修学旅行（４月）

鹿児島・屋久島方面での感動体験。

附属坂出学園合同運動会（１０月）

幼・小・中・特別支援学校の児童・生徒たちが一緒になって運動会を開催します。

送別芸能祭（３月）

監督、脚本、演出、音響、衣装など、１、２年生が自分たちで一つの演劇を創り、卒業する３年生に贈ります。

地域・外部講師・幼小特支と連携した学び

共創型探究学習 CAN の探究において、大学や企業の専門家から学んだり、大学出前授業で香川大学の教授から先進的な知識を学んだり、保護者から仕事や生き方について学んだりします。また、コロラド大学からの留学生を招いての外国語の授業、幼稚園や小学校、特別支援学校、高校等と連携・協力し、多様な学びを経験する中で、多角的な視点や考えを身に付けていきます。

つむぐ学びの物語

自主性と個性を重視した部活動

通常の部活動は 17:00 まで（夏の延長時は希望すれば 18:00 まで活動可）、原則として毎週水曜と日曜の部活動は「No 部活 Day」にするなど、活動時間は決して長くはありませんが、生徒自らが効率よく練習する方法を工夫したり、解決に向けて試行錯誤したりするなど、自主性と個性を大切にした部活動を行っています。また、部活動の他にも各種検定（英語・漢字・数学）、科学の甲子園ジュニア（R5 全国優勝）等でも活躍しています。

令和８年度の部活動の主な成績

香川県総合体育大会出場　バスケットボール部（女子）　バドミントン部（女子個人）　剣道部（男子団体）
卓球部（男女団体・個人）　ソフトテニス部（男女個人）　陸上部（個人）

四国総合体育大会出場　卓球部（男子団体）　陸上部（共通女子 800m：第１位）

主な行事予定

SCHOOL EVENTS

前期

4月
- 始業式/新任式　・入学式　・修学旅行
- 学年団レクレーション　・授業参観　・松韻会総会

5月
- 前期スタートテスト（隔年）
- 教育実習（他学部/養護）　・前期研究授業（5~7月）

6月
- 研究大会（隔年）
- 前期中間テスト

7月
- 部活動壮行会　・中学校総合体育大会（郡市/県）
- 懇談会

9月
- 教育実習（主免/副免/他学部/本校卒/養護）

後期

10月
- 附属坂出学園合同運動会　・後期スタートテスト　・CAN 発表会
- 中学校新人体育大会（郡市/県 10~1月）

11月
- 後期研究授業（11~2月）　・後期中間テスト
- オープンスクール/大学出前授業/地域企業・保護者による進路学習

12月
- 集団宿泊学習（2年）　・懇談会

1月
- 本校入試

2月
- 学年末テスト

3月
- 送別芸能祭　・卒業式　・修了式　・離任式

部活動

CLUB ACTIVITIES

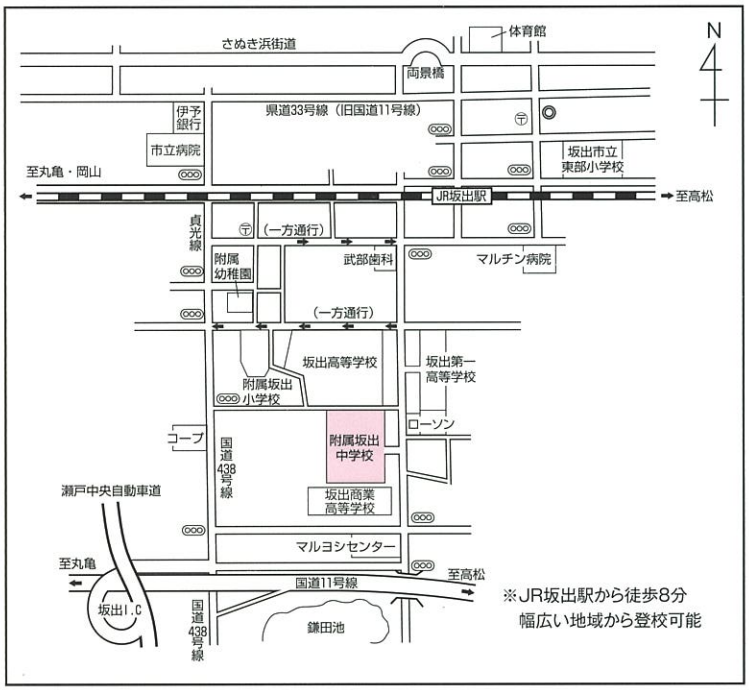
運動
- 野球部　・バスケットボール部　・バレーボール部　・バドミントン部
- 卓球部　・ソフトテニス部　・剣道部/陸上部（大会引率のみ）

文化
- 吹奏楽部　・美術部　・茶道部　・生花部　・理科部　・英語部
- 家庭科部　・技術部

生徒数

NUMBER OF STUDENTS

	1年	2年	3年	合計
男子	46	60	54	160
女子	59	45	51	155
合計	105	105	105	315
学級数	3	3	3	9



香川大学教育学部附属坂出中学校

〒762-0037　香川県坂出市青葉町1番7号

TEL　0877-46-2695　　FAX　0877-46-4428

E-mail:fuzoku-sakachu-l(エル)@kagawa-u.ac.jp

http://www.sch.ed.kagawa-u.ac.jp/